

そなえあれば  
うれいなし

西 淀

# 防災 Times

Vol. 7 令和4年 12月6日発行

11月1日に実施した地震火災津波想定避難訓練のご協力ありがとうございました。実際に地震が起きた際、少しでも多くの命が助かるように訓練を行い、実際に予期せぬ事態が発生した場合でも円滑に避難できるように心がけ取り組んでいきましょう。さて、第7号ではアンケートを中心に振り返っていきたいと思います。

## 日程について。

- ・二次避難の訓練をする場合は月曜日に設定した方がよい(西淀工場の一般ゴミ受付が休みなので)

## 想定について。

- ・今の想定は一定、定着してきたので、次のパターン(万一の例)に発展させては。ピロティ集合にしていますが、あの場所が一部落下の可能性もあります。中高はグランド正面門、小は裏庭から集合で東門から避難というように一斉集合できない場合に備えた想定も必要と思います。
- ・地震だったら窓を開ける、火事だったら窓を閉めるが、今回は両方なので迷った。はじめは地震ということで、「窓開けて」というかけ声もあり、今回は開けて正解だった。
- ・具体的な時間は伝えず実施した方が現実的な動きになるのでいいのでは。

## 避難経路・避難先について

- ・東門を活用する想定も実施しておく方がよいと思います。・緑道のほうが行き取りしやすいのではないかな。
- ・西淀工場への避難経路を淀川通りの方を通過して訓練してみたい。
- ・火事の場所がわからず、どっち周りで逃げるかわからなかった。
- ・経路の歩道が傾きや凸凹が多く、逃げにくさを感じた。かといって車道も危険が多いのでどうすればいいのか…。
- ・千船病院に着いた時、日陰がなかったので、特に夏場に起きたときは日よけ対策がいると思った。

## その他

- ・音楽室に伝令が来なかった。 ・火災の要素が少なかった。 ・教室内の放送が聞こえにくい。
- ・医ケアの子のマニュアルや医ケア記録(連絡帳)を防災袋に入れておいた方がよいのでは。
- ・小学部の避難する道がフラットではないので移動しにくい。小さな段差が多い。
- ・酸素等が必要な児童は、大きな袋で一つにまとめられるようにしたら便利だと思いました。
- ・避難の指示は口頭連絡だけでなく、放送でも指示があったほうがいのように感じた。
- ・バギーの日よけ等で生徒を守る。 ・事務室、給食室にも伝える。
- ・地震で揺れている最中「ゴロゴロ」等の音源があってもよかった。

アンケートのご協力ありがとうございました。多くの先生方や湯井先生からもご指摘頂いたことを踏まえて、今後より円滑に避難ができるように訓練内容を検討し、実施していこうと考えております。

南海トラフ地震の場合、地震発生から津波の到着まで1時間以上といわれていますが、地震の規模や発生場所によっては数分で被害が表れることも考えられます。淀川等の堤防決壊や液状化現象などがあれば、出水により避難できなくなる可能性もありますので、すみやかな避難が必要です。日ごろから対策し、備えましょう。